



2012年3月16日

富士重工業 先進運転支援システム「EyeSight（アイサイト）」を北米市場に導入

富士重工業は、ステレオカメラを用いた先進運転支援システム「EyeSight（アイサイト）」を今夏から北米市場に導入します。EyeSightは、世界で初めてステレオカメラのみで、全車速追従クルーズコントロール機能や歩行者、自転車をも対象としたプリクラッシュセーフティ機能を実現したシステムで、既に導入している日本では、EyeSightの装着比率がレガシィ/アウトバック販売比率の約90%^{*1}を占めるなど、お客様から高い評価をいただいています。

*1：2011年12月～2012年2月の受注実績

海外展開としては、昨年末に導入したオーストラリア市場に続く第二弾となり、北米市場では2013年モデルのレガシィおよびアウトバックの一部グレードに設定されます。米国市場でのEyeSightの機能は、プリクラッシュブレーキ、プリクラッシュブレーキアシスト、全車速追従機能付クルーズコントロール、AT誤発進抑制制御、車線逸脱警報など、日本仕様と同様です。

富士重工業は、ブランドステートメントである“Confidence in Motion”を通じて、スバルならではの「安心とゆしさ」の提案を掲げています。この「安心とゆしさ」を支える重要な要素である「安全」を、ALL-AROUND SAFETYの考え方を基に、アクティブセーフティ、パッシブセーフティ、プリクラッシュセーフティ^{*2}の各技術進化により実現していきます。そして、EyeSightを安全技術の重要アイテムとして、引き続き世界市場への拡大展開を図っていきます。

- *2：アクティブセーフティ：走行性能・危機回避性能による安全性向上
- パッシブセーフティ：衝突安全性能による安全性向上
- プリクラッシュセーフティ：先進運転支援システムの警報や自動ブレーキなどによる安全性向上